



2020年7月31日

各位

会社名：株式会社ヘガコーポレーション
代表者名：代表取締役社長 浮城 智和
(コード：3542 東証マザーズ)
問合せ先：取締役経営管理本部長 河端 一宏
(TEL：092-281-3501)

2021年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2020年7月31日開催の取締役会において、2020年5月15日に公表しました2021年3月期（2020年4月1日～2021年3月31日）の通期業績予想を、下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2021年3月期通期業績予想の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	15,100	470	500	300	29.13
今回修正予想（B）	18,000 ～ 20,000	1,700 ～ 2,100	1,730 ～ 2,130	1,030 ～ 1,270	98.97 ～ 122.03
増減額（B - A）	2,900 ～ 4,900	1,230 ～ 1,630	1,230 ～ 1,630	730 ～ 970	—
増減率（%）	19.2 ～ 32.5	261.7 ～ 346.8	246.0 ～ 326.0	243.3 ～ 323.3	—
（ご参考）前期実績 （2020年3月期）	13,570	116	146	40	3.94

2. 修正の理由

2021年3月期第1四半期の実績におきまして、SEO・Web広告からの新規アクセス流入およびSNS強化による認知度向上が奏功し、旗艦店へのアクセス数等が大幅に伸長、全体の売上高に占める旗艦店比率が46.4%を突破する等、旗艦店シフト施策が順調に進捗しました。加えて、新型コロナウイルスの影響による需要の押し上げもあり、売上高は四半期ベースで過去最高となりました。

利益面におきましても、販売価格及び商品構成の見直しによる原価率の改善や、在庫適正化や適正配送による保管費及び物流外注費の削減といった利益改善の取り組みを継続した結果、売上総利益率および売上高営業利益率がともに改善し、四半期ベースで過去最高の営業利益、経常利益及び当期純利益を達成いたしました。

以上の2021年3月期第1四半期の結果に加え、現時点までの実績及び今後の売上予測を加味すると、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益が前回発表予想を上回る見込みとなりましたので、2021年3月期通期業績予想を修正することといたしました。修正にあたっては、現時点までの実績に加えて、旗艦店を中心に引き続き売上高が伸長する想定を置いておりますが、2021年3月末までの緊急事態宣言再発効及びそれに伴う売上高増減は考慮しておらず、レンジの上限で売上高20,000百万円、営業利益2,100百万円、経常利益2,130百万円、当期純利益1,270百万円と設定しております。売上高につきましては、景況感の大幅な悪化等により需要が当社予測ほどに伸長しないケースを想定して、18,000百万円を下限として設定しており、利益につきましては、売上高の増減に加えて、広告宣伝費の調整及び研究開発（DOKODEMO事業、VR・AR等の技術開発）への投資再開可能性を加味し、営業利益1,700百万円、経常利益1,730百万円、当期純利益1,030百万円を下限として設定しております。

(注) 上記予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

以上